

平成 24 年

第 1 回仙北市議会定例会

教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成24年第1回仙北市議会定例会の開会にあたり主な事項についてご報告をさせていただきます。

【教育指導課】

◇被災地からの小・中学校転入児童生徒について

被災地からの市内小・中学校への転入児童生徒は現在12名（男6名、女6名）です。

学校別の内訳は、生保内小学校8名、角館小学校3名、西明寺小学校1名で、福島県から10名、宮城県から2名となっております。

なお、幼稚園については、生保内幼稚園に4名、神代幼稚園に3名で合計7名（男5名、女2名）、福島県から6名、宮城県から1名が入園となっております。

◇奨学金制度の一本化について

仙北市基金条例の一部を改正する条例については、田沢・生保内両財産区への説明手続きを踏むべきとご指導をいただき、前回、提案を取り下げさせていただきました。

1月18日に生保内財産区、26日に田沢財産区の両管理会協議会において、市内の3奨学金制度の現状と制度の一本化の意義等について説明の機会をいただきました。両財産区からは、文書で回答をいただき、制度の一本化についてご理解をいただけたものと受け止めております。

つきましては、平成24年度実施に向け、本議会定例会に「仙北市基金条例の一部を改正する条例」及び「仙北市奨学資金条例の一部を改正する条例」を提案しておりますのでよろしくお願いいたします。

◇全県中学校スキー大会開催について

去る1月13日から16日まで、本市の田沢湖スキー場において「第55回全県中学校スキー大会（クロスカントリー・アルペン）」が「高等学校総合体育大会スキー競技会」と合同で開催されました。生保内中学校がアルペンの部男子団体優勝、同校の須田忠厚選手（2年生）が回転で優勝を果たすなど、市内各校の選手が好成績を収めております。

東北大会にはアルペンの部に男子3名、クロスカントリーの部に女子

1名が出場し、アルペン男子大回転で生保内中学校の須田忠厚選手が6位入賞を果たしております。全国大会にはアルペンの部に男子1名、クロスカントリーの部に女子1名が出場しましたが、残念ながら入賞は逃しております。

◇マーチング&バトンステージ全国大会参加について

角館小学校の吹奏楽部「角館小学校ドリームハーモニー」は、大仙市の4小学校の吹奏楽部及び美郷町六郷小学校の吹奏楽部との合同バンドを編成し、去る1月28日・29日に仙台市で開催された「第25回東北小学校バンドフェスティバル・第15回マーチング&バトンコンテストオンステージ東北大会」に出場いたしました。その結果、優秀バンドとして表彰され、出場した30チームの中から全国大会への出場バンドに推薦されました。

2月18日に横浜市で開催された「第11回マーチング&バトンステージ全国大会」に合同バンドとして出場し、講評者特別賞を受賞しております。

◇安全・安心のための学校給食環境整備事業について

福島原発の事故により、保護者の学校給食食材に対する不安が広がっていることから、秋田県教育委員会が放射性物質の検査体制を整備します。県内の学校給食センター等で給食に提供される食材を、1調理場当たり年間15回程度、県内5箇所にて設けられた検査会場に持ち込み、検査するもので、この3月から開始します。

市内の学校給食センターも全てこの検査に参加します。検査結果は、速やかに市のホームページ等で公表します。

◇インフルエンザによる出席停止の状況について

2月1日の生保内中学校2年生の学年閉鎖を皮切りに、生保内小学校1年生と4年生、角館中学校1年生、西明寺小6年生、生保内幼稚園の4歳児クラスが3日間から4日間の学年閉鎖、角館小学校が3年梅組、2年梅組、1年梅組の学級閉鎖の後、3日間の学校閉鎖措置をとっております。

インフルエンザA型、B型が混在し、大仙保健所管内においてインフ

ルエンザ流行拡大に関する警報も発表され、注意を呼びかけております。

【生涯学習課】

◇第1回仙北市総合美術展について

文化祭のあり方を検討している各地区文化祭実行委員会の代表者等による「賑わいの文化祭推進会議」では、実行委員会を組織し「第1回仙北市総合美術展」を3月3日から11日までの9日間、平福記念美術館で開催することになりました。絵画、書、写真、陶芸や手工芸品を中心とした美術展です。仙北市在住の方、市内に勤務している方、仙北市で芸術活動をしている方から一人1点の作品を募集したところ、予想をはるかに超える124点の作品が集まりました。三地区合同による美術展の開催で賑わいが創出され、市民の生涯学習の意欲につながることを期待されます。

【公民館】

◇新春書初大会について

1月6日に、角館交流センターにおいて田沢湖、角館、西木各公民館合同による「仙北市新春書初大会」を開催しました。市内の小学生43人、中学校生4人、高校生13人の計60人が参加し、「げんき」「希望の年」などの課題に真剣に取り組み、一字一字に新年の思いを込め筆を運んでおりました。

作品は、1月11日から31日まで西木温泉「クリオン」に展示し、市内外の方々に鑑賞していただいております。

【仙北市民会館】

◇市民会館の改修工事について

平成23年11月3日に発生した市民会館ホール天井照明ボックス点検用蓋落下事故に伴う改修工事が12月28日で完了しております。

また、キャットウォーク等天井裏の点検を行った結果、たび重なる地震や経年劣化により補強工事が必要との報告がありました。

事故以来閉館となっており、市民の方々、各機関団体の皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、安全確保のための対策を検討し、早期再開に向け努力して参ります。

【学習資料館・イベント交流館】

◇市民の読書推進について

学習資料館では平成23年に制定された「仙北市民読書条例」に則り、仙北市教育委員会主催・角館図書館後援会後援による「第1回仙北市読書感想文コンクール」を実施し、市内小・中学校9校から121点の応募がありました。審査の結果、入選作品12点の中から仙北市長賞1点、角館図書館後援会長賞2点、仙北市教育長賞2点を選出し、2月21日に仙北市総合情報センターで表彰式を行いました。

また、図書管理システムと学校公共間連携横断システムの構築が完了し、市内小・中学校全校で運用を開始しております。

【スポーツ振興課】

◇第63回秋田県民体育大会冬季大会スキー競技会について

「第63回秋田県民体育大会冬季大会スキー競技会アルペン競技会」が1月19日から22日まで田沢湖スキー場で開催され、国体予選を兼ねた男子大回転競技の成年男子Cに出場した佐藤清美選手（田沢湖SC）田口英博選手（田沢湖SC）は大健闘しましたが惜しくも上位入賞はなりませんでした。

地元の県立角館高校から回転競技に出場した谷藤良選手（男子回転）と下村美緒選手（女子回転）が見事1位に輝きました。男子スーパーG競技では村田輝昭選手が2位、女子スーパーG競技では最上愛里沙選手が見事1位に輝き、下村美緒選手も3位入賞しております。

さらに、国体予選を兼ねた男子大回転競技では、村田輝昭選手が1位、松本匡史選手が2位に入り、女子大回転競技でも、下村美緒選手が2位に入るなど、角館高校出場選手が好成績を収めております。

【文化財課】

◇ソメイヨシノ花芽食害防止の有害鳥獣捕獲について

名勝桜木内川堤のサクラについて、景観保全を目的に、2月1日から3月1日までの30日間、ソメイヨシノ花芽食害防止としてウソの有害鳥獣捕獲を角館猟友会に委託して行っております。これまで、数羽の飛来が確認されたものの捕獲には至っておりません。

今後、集団で飛来した場合に備え、関係機関の協力を得て3月18日

まで期間を延長します。名勝地域外の内川橋下流については、鳥の忌避剤といわれておりますロープや磁石、反射板等を設置しウソの行動を検証しております。

【角館町平福記念美術館】

◇児童生徒県南美術展について

12月5日から1月29日まで開催した「第34回児童生徒県南美術展」は、県南地区の小中学校98校から1,219点の作品が出品され展示しました。期間中は家族連れを中心に3,198人が訪れました。

会期最終日に、特賞受賞者の表彰式を行い、審査委員長の佐々木良三秋田大学名誉教授から一人一人に講評をいただき、市長賞などを23名に授与いたしました。

◇レオナルド・フジタがやってきた角館展について

2月6日から26日まで、秋田県教育委員会、県立近代美術館、平野政吉美術館の主催で、現在建築中の新県立美術館に展示予定の藤田嗣治（レオナルド・フジタ）作品を多くの方たちに知っていただくため「レオナルド・フジタがやってきた角館展」が開催されました。

藤田が角館を訪れた祭に描かれた「雪国の少女、秋田おばこ」の作品を含めた約60点が展覧され、市内外の多数の方にお出でいただき好評を得ることができました。

次に、教育行政の基本方針並びに主要な施策について申し上げます。